

# 環境緑地学科

## 1. 教育研究上の目的

本学科は、人と生物とが共存できる緑豊かな生活環境の創造をめざして、人格の陶冶、基礎理論に裏打ちされた思考から現場での問題を解決できる応用能力を身に付け、環境緑化及び造園業の自営者や後継者、緑化・花卉関連産業の第一線で活躍し、その発展に寄与しうる行動力のある人材を養成する。

## 2. 教育目標

環境緑地学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 人とその生活および自然とのかかわりについての豊かな知識と感性を有する者
- (2) 単なる知識だけでなく、現場において観察、思考し、問題を解決するための応用能力を有する者
- (3) 環境緑化・管理、造園業、環境教育および花卉関連産業の第一線で活躍し、その発展に寄与し得る気概と行動力を有する者

## 3. ディプロマ・ポリシー

環境緑地学科は、「緑豊かな生活環境の創造」という基本理念に基づき、環境緑化・造園、自然環境、動植物調査等の緑地環境計画・保全の専門分野における知識・技能を有し、実際的な思考と応用力、行動力を持った人材を輩出するため、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 緑豊かな生活環境創造のための実践的活動において、協調性と高い倫理性をもって自律的・継続的に行動する能力を身につけている。
- (2) 緑地環境調査・計画・管理に関する諸問題を論理的に説明し、解決するための専門知識や技術を身につけている。
- (3) 地域における環境保全のための実践的な調査活動、創造・管理計画に関する情報収集力、コミュニケーション力、分析・解析力、プレゼンテーション力などの能力を身につけている。

## 4. カリキュラム・ポリシー

環境緑地学科は、基礎理論に裏打ちされた思考から現場での問題解決能力や応用能力の修得を目指し、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針のもと教育課程を編成します。

- (1) 緑豊かな生活環境創造に必要な基礎科学と基礎技術に関連する科目を配当する。
- (2) 緑豊かな生活環境創造に必要な関連諸知識と技術およびそれらを応用して問題を解決する実践力を身につけるための科目を配当する。
- (3) 設定目標の実現や問題解決のために相手を理解・評価し、自分の考えを伝えるとともに誤りを訂正する能力（理解力、発表力、討議力）を身につけるための科目を配当する。
- (4) 設定目標の実現や問題解決のための課題を設定し、それについて具体的に取り組み、まとめ、発表する能力を身につけるための科目を配当する。

## 5. アドミッション・ポリシー

環境緑地学科は、人と自然との良好な共生を目指し、その実現に向けた社会の構築に貢献できる人材の養成を目指します。そのため、本学科では次のような学生を求めています。

- (1) 地球環境問題や生態系、自然を構成する動植物に興味・関心を持ち、時代の要請に則した緑豊かな生活環境の創造に必要な専門的知識、技術を学ぶための基礎的な学力や技術を身につけている。
- (2) 現在の自然・生活環境の問題点について真剣に考え、それらを改善するための実際的な緑地の設計や樹木の植栽などの専門的な知識、技能・技術を修得する意欲がある。
- (3) 修得した専門的知識や技術・技能を活かし、緑豊かな生活環境の創造や自然との共生のための施策の立案とその実現において、関連する多種多様な人々とコミュニケーションをとり、協働しながら事に当たる姿勢を身につけている。
- (4) 修得した専門的知識や技術・技能によって、緑豊かな生活環境の創造や自然との共生のための具体的な景観の空間設計や計画立案をすることができる。